萬松寺新聞 The news of Bansho-ji temple [Hakubi report]

はくび通信

萬松寺の不動明王像は、立ち姿の石像。先の大戦、また歳月によって劣化したお姿に、歴史の重みを感じます（未公開）。不動明王は忿怒のお姿で厳しい表情をされているものですが、萬松寺の不動明王像も一切の悪魔を降伏させるような威勢と神秘的な尊さを備えた表情をされています。そして「身代り不動」と呼ばれ親しまれ、実は織田信長公に非常にゆかり深いお不動様でもあります。

萬松寺蔵「身代り不動明王像」　写真：永谷正樹

織田信長公ゆかり

身代り不動明王

一五七〇年、信長公は越前の朝倉氏を攻略した帰り道、琵琶湖北で鉄砲の名手・杉田善住坊に狙い撃ちをされました。その二発の命中弾は、たまたま胸にしまっていた「干餅（＊昔の保存食で非常に固い餅）に当たり、かすり傷のみで難を逃れたと言います。この干餅は萬松寺の和尚からもらい受けたもので、信長公が日頃より信心深かった不動明王様のご加護によるものと言い伝わるようになりました。

そのおよそ四十年後、徳川家によって天下統一がされ、尾張では加藤清正公によって名古屋城築城が進められておりました。清正公は、信長公を非常に崇拝していた人物。宿をとっていた萬松寺でたまたまこの話を聞受け、お不動様を「身代り不動」と名付け毎日のように礼拝したと言われております。それ以降、門前の茶屋で売っていた餅までも「身代り餅」と称され災難厄除けにと争って賞味されました。

現在でも交通安全祈願やそのお礼参りに訪れる人が途絶える事はありません。

絵：平松礼二

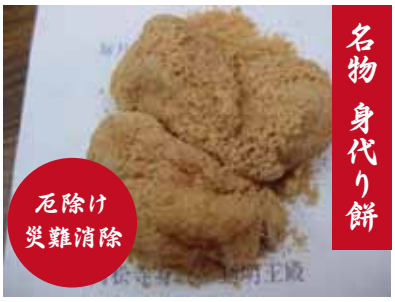
上の絵は、文藝春秋の表紙も長年描いた日本画家、平山礼二さんによる萬松寺の不動明王様。この絵はおみくじにも描かれています。

縁日に不動明王真前で行われる護摩焚きの様子。護摩木を釜に入れ燃やし、仏の智慧の火を以て皆様の煩悩（苦の根元）を焼き浄め、大厄を消除します。

＜護摩木祈願＞　縁日に一本ずつ読み上げをし、お焚き上げ致します。家内安全、商売繁昌、病気平癒、心願成就など、丁寧にお書き下さい。

●毎月二十八日は縁日

名物　身代り餅


厄除け
災難消除

毎月二十八日はお不動さまの縁日。毎月この日は、信長公の窮地を救った「干餅」にちなんだ「身代り餅つき」が行われます。きなこがたっぷりまぶされた、つきたての杵つき餅が、午後六時から、参拝者に無料で配布されます。

この歴史的にも由緒のあるイベントは、昭和四十年代頃から始まり、以後、一度も休む事なく毎月行われています。このお餅を食べたおかげで「あわやの事故を免れた」と毎月訪れる人も多く、参道には長蛇の列が出来ます。

5月28日「春期不動明王大祭」

当山の不動尊様は、「身代り」と呼ばれる如く、災難や病気の身代りになって下さるご利益・霊験がございます。災難消除・病気平癒・身体健全・家内安全・交通安全等の御祈祷により幸せな日々を呼び込んで頂きたいと存じます。

●時間：午前10時～午後3時（受付は午後2時半まで）
●場所：不動堂
●費用：大般若－金壱万円也　祈祷－金五千円也

万松寺駐車場&万松寺パーキングがさらに便利に!

駐車場精算機でクレジットカードが使用できます!

VISA　MasterCard　JCB　NICOS　Diners Club International　DC　UFJ Card　AMERICAN EXPRESS　MUFG CARD　ご利用いただけるクレジットカード

カードを入れるだけ!サイン不要の簡単精算

楽天Edy　タッチるすだけで簡単精算!
電子マネー「楽天Edy」も使えます!

24時間年中無休

★24時間最大（平日：1,100円　土日祝：1,500円）
※2004年4/1より改定しました。
● 昼間（8：00～20：00）100円/15分
● 夜間（20：00～8：00）50円/30分

【お問合せ】052-251-4543（9時～18時）

■旧券の交換は管理事務所（万松寺ビル北館1階）または万松寺境内の受処へ。

ご祈祷・供養は萬松寺

◆十一面観世音菩薩：先祖供養、水子供養
◆身代り不動明王：厄除け、無病息災、身体健全 病気平癒、災難消除
◆白雪稲荷：商売繁盛、家内安全

各種ご祈祷を受け付けております。
ご祈祷の受付は午前10時～4時半まで。

❖ 5月28日　身代り不動明王「春期不動大祭」
❖ 毎月28日はお不動さんの縁日
午後六時～、境内にて織田信長公ゆかりの由緒を伝える「身代り餅つき」が行われ、参拝客の方々に振舞われます。

亀嶽林 萬松寺
お問合せ TEL 052-262-0735

からくり人形『信長』は午前10時～2時間おきに毎日5回上演しております。雨天強風の際は上演されません。

発行：萬松寺　〒460-0011　名古屋市中区大須3-29-12　TEL.052-262-0735

住職が曹洞宗大本山総持寺より請され焼香師をお勤めしました。

去る四月十一日、神奈川県の総持寺で行われた「報恩大授戒会」という法要において、当山住職が焼香師に任じられ、その大役を勤めました。御授戒会は曹洞宗の法要の中で最も重要な法要の一つ。焼香師は禅師の名代として法要の中心となりますが、その大役に請される事はとても名誉なことであります。

●中央、焼香師を勤める当山 42 世 大藤元裕 住職。

萬松寺は山号を亀嶽林（きがくりん）と号する曹洞宗（禅宗）の寺院で、神奈川県にある総持寺の末寺です。本山である総持寺には当山から様々な物も寄進させていただいており（※下参照）、そのようなご縁もあって、今回このような大役を任ぜられました。曹洞宗の教えは「只管打坐（しかんたざ）」、ただひたすら坐禅をすることで、今から八百年ほど前の鎌倉時代、道元（どうげん）禅師が正伝の仏法を中国から日本に伝え、瑩山（けいざん）禅師が全国に広めその礎が築かれました。本宗派では、ご本尊である釈迦牟尼仏（しゃかむにぶつ）とともに、このお二方を両祖とし、一仏両祖（いちぶつりょうそ）として仰ぎます。当山は道元禅師が開かれた福井県の「永平寺」と、瑩山禅師が開かれた「總持寺」の両山を本山としています。

●總持寺　大祖堂

●大本山總持寺

總持寺は今から約 700 年前の元亨元年（1321）、瑩山禅師によって開創。当初は石川県能登に建立され 570 年ほど栄えるが、明治 30 年（1898）、大火災によって七堂伽藍の大部分を焼失。直後、貫首・石川素童禅師は焼失した伽藍の復興のみならず、宗門の近代化に向けての歩みを考え、明治 44 年（1911）、この機に布教伝道の中心を神奈川県横浜市鶴見に移転。總持寺では瑩山禅師と峨山（がざん）禅師を御両尊として仰ぐ。瑩山禅師の弟子、峨山禅師は總持寺の護持に尽力。門下に多くの弟子を育成し全国各地へと教線を伸ばした。曹洞宗が現在凡そ 1 万 5 千の寺院と 2 万 5 千人の僧侶、数百万人を超える檀信徒を要する国内最大の教団に至ったのは峨山禅師の功績によるものが大きいとされる。

「報恩大授戒会」は總持寺で毎年四月十日～十六日に行われる、戒名（かいみょう）を授かる法要ですが、この報恩大授戒会中、住職が焼香師を勤めたのは「御両尊献粥諷経」という法要です。本山では朝食で粥を食べますが、この法要は日も登らぬ早朝から行われ、御両尊（※上参照）に心を込めて作った「粥」をお供えします。粥の他に、身体の疲れを癒すと言われる蜜湯、また厳選した御菓子、吟味したお茶を、それぞれ香に薫じお供えがされると、住職は法語（仏の教えを簡潔に表現した詩文）を述べ、法要は厳かに執り行われました。

来る九月二十五日、福井県の永平寺「御征忌（ごしょうき）」という法要でも、当山住職が焼香師の大役に任じられました。この法要は道元禅師の命日法要で、曹洞宗の中で最も重要な法要の一つです。つきましては名誉を授かる住職と共に行く、皆様との参禅・参拝の旅も考えておりますので、詳細が決まり次第ご案内を致します。

●總持寺に残る、萬松寺の縁

②

①

③

④

①江戸文化年間、当山 27 世瑞岡珍牛和尚が檀信徒の霊骨を安置する為の「宝篋印塔（ほうきょういんとう）」を建立。
②③大正 4 年（1915）、当山 36 世大圓覺典和尚が、それまで当山境内にあった衆寮（しゅりょう／修行僧が弁道に励む建物）を移築し寄進。③衆寮内部、尾張徳川家から寄進された准堤（じゅんてい）観音像。
④平成 13 年（2001）、当山 41 世恒明治雄和尚が、万松寺ビル建設にあたり、これまであった立体駐車場一式を寄進。

永平寺に泊まる
1泊2日のバスツアー
大本山永平寺（福井県）
住職と行く 参禅・参拝の旅

平成26年
9/24（水）～25（木）
近日中に募集予定
※9 月 25 日は大本山永平寺にて当山住職が焼香師を勤めます。

発行：亀嶽林 萬松寺　〒460-0011　名古屋市中区大須３-２９-１２　TEL. 052-262-0735